

服用に際して、必ずこの添付文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

解熱鎮痛薬

頭痛・歯痛・生理痛

ニューカイデキ錠F[®] (非ピリン系)

◆**ニューカイデキ錠F**は、ビタミンB₁、カンゾウ乾燥エキスを配合の解熱鎮痛薬で、服用に便利な錠剤です。頭痛・歯痛・生理痛をはじめとするいろいろな痛みに対する鎮痛、発熱時の解熱などに優れた効果をすみやかにあらわします。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。
 - (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気があらわれることがあります。)
4. 服用時は飲酒しないでください。
5. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3)授乳中の人
 - (4)水痘(水ぼうそう)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)
 - (5)高齢者
 - (6)本人又は家族がアレルギー体質の人
 - (7)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (8)次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - (1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。

裏面もお読みください。

症状の名称	症 状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疽（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5 ～ 6 回服用しても症状がよくなる場合

効能・効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
(2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水またはお湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15才以上（成人）	3 錠	2 回まで 服用間隔は 6 時間以上おくこと
11才以上15才未満	2 錠	
7 才以上11才未満	1 錠	
7 才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

1 日量（6 錠）中

成 分	含 量	はたらき
アセトアミノフェン	600mg	痛みを抑え、熱を下げます。
エテンザミド	1,000mg	痛みを抑え、熱を下げます。
無水カフェイン	200mg	解熱鎮痛作用を助けます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	120mg	痛みの不快感をやわらげます。
ベンフォチアミン（ビタミンB ₁ ）	25mg	発熱時に消耗しがちなビタミンB ₁ を補います。
カンゾウ乾燥エキス	72mg (原生薬換算量：504mg)	のどの炎症を抑えます。また胃粘膜を保護します。

添加剤：結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
(4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

〈錠剤の取り出し方〉

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。
（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（学術室）

電話（048）648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

（PTPシートの取り出し図）



製造販売元 **株式会社 富士薬品**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地